

# 平成26年度 岡崎市予算編成方針

## 基本方針

我が国の経済は、平成20年9月以降の急激な景気の悪化等の影響も底をついたとみられ、緩やかながら回復の兆しが見られる状況にある。

市税収入については、前年度に対して増加が見込まれるところであるが、今後予定される消費税の引上げなどの影響も注視する必要がある。

一方、社会保障関係経費については緩やかになりつつあるものの依然増加傾向にあり、また、床上浸水対策特別緊急事業や継続的に進めている大型事業は引き続き推進を図り、市民福祉の維持・向上に努めていかなければならない。さらに、市制施行100周年も視野に入れ、次の新しい岡崎に向けて、様々な課題に取り組んでいかなければならない。

そのため、予算編成に際しては、各種財政指標にも配慮する中で、税収の増加に加えて、財政調整基金等の基金や市債を積極的に活用するなど、出来る限りの歳入確保を図ることとし、歳入と歳出のバランスを図るとともに、各部署の創意と工夫を生かすため、引き続き枠配分方式を採用する。